

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第5回 理事会議事録

日 時：2015年 5月 26日 (木) 19:00～22:00

場 所：コンセーレ 小ホール

出席者：

- (理 事 長) : 須山 (敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) :
(副 理 事 長) : 澤畑、福田(之)、廣田、太城、中島
(専 務 理 事) : 金
(監 事) : 安野
(担 当 常 任 理 事) : 羽石、飯野、鈴木
(日本 JC 委員会特別委員長) :
(会 員 拡 大 特 別 委 員 会) : 小瀧
(法 令 会 計 審 査 局 局 長) : 豊崎
(事 務 局 局 長) : 飯沼
(委 員 長) : 辻、渋谷、篠原、増淵、宮林、福田(弘)、山田、
木村、飯塚
(局 次 長、副 委 員 長) : 間島、金田、柿沼、相田、菊地、中嶋、板林、佐藤、
南木、林
(準 理 事 会 構 成 員) : 赤井、齋藤、加賀田、亀井

1. 開会宣言 <金> (役職名省略 以下同)
2. JCI クリード唱和 <金田>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <宮林>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <小瀧>
5. 関東地区宣言唱和 <菊地>
6. 出席者の確認 <飯沼>
7. 議事録作人並びに議事録署名人の指名
議事録 <総務委員会>
議事録署名人
須 山 裕 史
安 野 嘉 政
8. 前回議事録の確認 <金>
9. 議題並びに資料の確認 <飯沼>

皆さま第5回の理事会にお集まりくださりましてありがとうございます。今日は欠席、遅参ともにすくないと思います。事業、例会の続く忙しい季節の変わり目になりましたけども、お集まりいただき感謝申し上げます。この1か月間いろいろありました。まずは全国大会案件のお話をしたいと思います。5月8日に関東地区の役員会に参加をさせていただいて、勝浦の地で正式に公益社団法人宇都宮青年会議所として、全国大会を歩むということが難しいとの判断をいただきまして、緊急に理事会を招集、そして総会を迎えるということになりました。私たち宇都宮JCは関東地区協議会の推薦をいただき、ここまで歩んでまいりましたが、しっかりと理解をし、準備を進めて、また2016年度に引き続き手をあげられるようにしていきたいなと思っています。

何がいけなかったとかそういうことではなくて、すべては私たちの行動と決断だったと思いますので、ここまでの歩み方、そしてこれからの歩み方が大切だと思います。ただ、私たちが一つひとつ選択をして、そして決断をしてやってきたわけですから何一つ恥じることもないですし、関東地区の代表というのとはかわりませんし、関東地区の推薦というのは取り消すことなくこのまま公益社団法人宇都宮青年会議所に付与されたままでありますので、関東の代表として恥じることなくこれからも歩みを進めていかなければいけないのかなと思っています。

先週のわんぱく相撲の裏で、八戸と全国大会運営会議の全体委員会に参加をさせていただきました。その中で私たちは、正式に今年は見送りをさせていただくと発表させていただきましたが、全国大会に対する夢というものはあきらめずに引き続き邁進をしていきたいということもその場で誓ってまいりました。これから一步一步構築をしていかなければいけないと思いますが、是非とも気持ち折れることなく進んでいただけたらと思います。

事業、例会の方を振り返りますと、まずはフェスタMY宇都宮ということで、篠原委員長、加賀田副委員長たいへんお疲れ様でございました。個人的な感想ですけども、想像以上の反響があったなと思っていますし、笑顔がどのようにキャンパスに描かれていくのか想像がつかなかったんですけども、非常によいものができあがりまして、ララスクエアでの展示も拝見させていただきましたが、非常に目立つところに設置していただいたと思っています。はじめての事業で取り組んだところでは非常に困難で苦労されたと思いますが、ここまでしていただいたことに感謝申し上げます。また、これからも掲示が続いていくと思いますが、皆さんみえていますので頑張っていたきたいと思っています。次年度以降への引継ぎもきっちりとしていただきたいと思っています。わたしはよい事業であったと判断しております。

わんぱく相撲ですけども、宮林委員長、相田副委員長たいへんお疲れ様でございました。すべては、懇親会にあらわれていたかなと思っています。宮林委員長がお話をしていたところで10人くらい泣いていたのですね。宮林委員長と相田副委員長のここまでの歩みというものが、心をうったのだと思います。普段泣かないような人がというところでよかったのかなと思います。宮林委員長そして青少年育成委員会の皆さんの頑張りというものが、メンバーにつたわったのかなと思います。しっかりと引継ぎの方をしていただいて来年以降につながるように、また全国大会がありますのでそこまでしっかりと準備を進めていただきたいと思っています。大変お疲れ様でございました。

本日は次年度の予定者が決まってくると思いますが、皆さんで承認をさせていただけたらと思います。私も昨年、理事会の場で承認をいただきました。そこから約1年間こうしてこられたのも、理事会構成メンバーの皆さまのおかげだとおもっておりますので、ひとつの区

切りとして今日は考えております。

残り半年となりますが、これから宇都宮 J C の事業、例会というものも続いてまいりますので、しっかりとまちのため、公益社団法人宇都宮青年会議所のために、みんなで力を合わせていけたらなと思っております。本日も忌憚のないご意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

1 1. 直前理事長挨拶

公務にて欠席のため割愛

1 2. 役員報告

総務委員会 辻委員長より、第 1 回臨時総会の案内。

宮まつり委員会 木村委員長より、第 1 回宮まつり出向者会議、ポスター貼り、天皇祭の案内。

渉外委員会 渋江委員長より、関東地区フォーラムの案内。

1 3. 審議事項

審-1 6 月 法令会計例会 開催計画並びに予算承認の件

審議資料に基づき、金田局次長より上程文の読み上げ

<須山> 豊崎局長、補足ありましたらお願いします。

<豊崎> 特段ございません。慎重審議をよろしくお願いいたします。

<須山> 法令会計より、コンプライアンス、会計について豊崎局長お願いします。

<豊崎> 特段問題ございません。

<須山> 金田局次長、この例会のみどころを説明ください。

<金田> この例会のみどころなのですが、孫子の兵法はもともと古代の兵法書でありまして、その兵法書をビジネスだとかリーダー論にいかすというのが今回の講演だと思います。特にリーダー論というものについて講演をしていただくわけですが、社会環境の変化ですとか、自治体、会社などでリーダー論が必要となってくると思います。そのようなところでリーダーが育つことで会社、ひいてはまちが育つと思います。このようなリーダー論を学べるということと、孫子の兵法にその答えがあるわけではなくて、その思考が学べるということがみどころです。

<木村> 背景にあります、市民の地域に対する関心が希薄になっているところから、市民の地域に対する関心が高いとはいえないのが現状です、というところにおいて、市民に対して訴えているところもありますので、先ほどの話では経営者や地域のリーダーに関して、というところがありましたので市民の方が来た時にということも意識をしてほしいなと思います。

- <福田(弘)> 市民を対象ということで、リーダーというのはどんな小さな組織にも必要とされるものだと思います。JC運動ということで、若い方にもアピールしていく、公益で多くの方の動員をするというときに、孫子の兵法というものに対して考えますとゲーム業界でも三国志等が流行していると思います。ミーハーかもしれませんがそういったゲームセンターなどにおいてみるというのもよいかもかもしれません。意見です。
- <柿沼> イベントでの配布が2回位になっておりますので、なんとか他のイベントもみつけて足で稼ぐというのもよいかと思います。意見です。
- <須山> 第5回法令会計審査は意見と対応がありませんが、いかがでしょうか。
- <豊崎> こちらの方、特になしということで記載もれとなっております。こちらの方、記載の上で審議の方、させていただければと思います。
- <須山> ご意見なきようなので審議のほうに移りたいと思いますがいかがでしょうか。それでは審議のほうに移ります。6月法令会計例会開催計画並びに予算承認の件、賛成の方右手挙手にてお願いいたします。反対の方。白票の方。事務局長お願いします。
- <飯沼> 全会一致でございます。
- <須山> 全会一致をもって、審議可決とさせていただきます。間島局次長から一言お願いします。
- <間島> 孫子の兵法なのですけども、簡単にいえば答えが書かれていない兵法書となっております。最近のビジネス書とかセミナーとかありますけど、こうしたらうまくいく、等のことをよく聞きますが、自分で考える力というものを教えてくれるもののかなと思っております。自分で考えるというのは本当につらいことだなと思いますし、そんなときに道筋を与えてくれるものかなと思っております。今回皆さんに聞いていただいて、一人ひとりの意識変革となる素晴らしい例会にしたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

14. 協議事項

協-1 7月 メディア例会 開催計画並びに予算(案)について

篠原委員長より2回目の上程のため変更点の読み上げ

- <金> ご意見ご質問はございますか。
- <相田> 今回、対象が市民となっておりますが、クラウドファンディングというものをつくる人というイメージが強いのですけども、そういったことに対して一般市民をどう巻き込もうと考えているか聞かせてください。

- <篠原> クラウドファンディングというもののづくりということではないのですね。私たちが考えているのは、今回まちづくりに対しての当事者意識を高めることでありまして、その当事者意識を高めるための手法としてクラウドファンディングという新しい知識をもちいてまちづくりにつなげると。そういったひとつのツールとして持っていただきたいとの思いで考えました。
- <金> どうやって市民の方を動員するのですか、という意見だったと思いますのでそのあたりもお願いします。
- <篠原> 動員につきましては、各メディアへ宣伝をお願いすることと、LOMのメンバーやOBの方々へお願いをすることがまず重要かと思います。あとはポスターをしっかりと配布することが重要かと思います。
- <南木> クラウドファンディングはこれから主流となると思われる人気のコンテンツだと思いますので、ビジターを多く呼びたいと思いますのでよろしくお願いします。
- <宮林> 私もあまりクラウドファンディングという言葉は聞きなれないのですが、ファンディングという言葉がついていますので資金調達ということだと思いますが、資料を拝見しますと、商品だとかの開発の時に大衆、群衆から資金調達する手段、これまでの銀行から調達する手段ではなくて、アイデアや商品に関する優れた提案ができればお金を集めやすいとか、可能性がひろがるね、みたいな部分かと思いますけども。そのことと当事者意識を高めてまちづくりをするということがどれほどつながるのかみえないので説明をお願いします。
- <篠原> わかりやすい事例を紹介させていただきますと、宮崎県のある女子大生がクラウドファンディングでアイデアをだしてまちづくりをしたいと。その時にお金を集めるのではなくて仲間を募ったのですね。最初は集まらなかったみたいなのですが今では30人位集まっています、ちょっとしたことなのかもしれないかもしれませんが、まちづくりへのきっかけなのだと思うのです。そしてこの講師の方も、特にまちづくりを考えるクラウドファンディングをやろうとしておりまして、基本的には地方の活性化などに特化した方なのでお金集めじゃない観点でのクラウドファンディングを活用するということを重点的におこないたいと思っています。
- <福田(弘)> 議案をみせていただいた印象として、まちづくりに参加する人の裾尾をひろげるというよりは、常に意識を持っている人の可能性をひろげる。クラウドファンディングという手法をこう使うことによって今考えていることを実現する手段があるのだよ、ということを見せてあげる。それによってまちづくりの人財が育つ。というような感じを理解していたのですよ。先ほどのお話だとまったくの初めてでも出来るのだよってことかと思いますが、ただ参加動員計画でメディア、ポスターでの告知で不特定多数な感じになっておりますが、ある程度絞ってすでにまちづくりに関わっている人へ向けた方法なども考えてもよいのではと思いました。意見です。

- <木村> クラウドファンディングなのですが、実はJ Cの先輩もボランティアで活用されているみたいなのですが、去年の例会、福島の支援で自分ももっと先に知っておけばよかったなど。この手法を知っていれば何かにかせたのかなと思っっているのですが、是非この例会後も市民の方がこういったものを活用でき、何か発展するような設えがあっても、ということを考えてました。以上です。
- <山田> 細かなところなのですが、ビジター向け案内文と特別会員向け案内文の曜日のところを金曜日に修正いただきたいのと、日付のところでは半角全角が入り混じっていますので修正いただきたいです。あと例会シナリオの理事長挨拶のところ、2015年度公益社団法人とありますが2015年度が後ろにくると思います。最後の入会認証賞授与式も新入会員授与式となっておりますので、もう一度全体的に精査をされるとよいかと思います。
- <林> チラシ配布先に選定されて光栄なのですが、クラウドファンディングについてもう少しわかりやすい説明をくわえていただければと思います。意見です。
- <羽石> 事業内容のところ、講師の方の説明をみていますとFAAVOとFAVVOの二つの表記があるのですが、ここが誤字なのかどうか説明をお願いします。
- <篠原> すみません。誤字です。FAAVOが正しいです。修正させていただきます。
- <福田(弘)> ポスター、チラシのデザインに関してなのですが、一見すると宇都宮J Cがファンドを立ち上げるので相手を募集しているよ、と感じてしまうような気がします。そのあたりを検討していただきたいです。意見です。
- <澤畑> 質問なのですが、先ほどの法令会計事業と続けて6月、7月とやっていきまして、同じ予算であるのですが、広報費、宣伝費が倍以上違うわけですね。倍以上違うのに、この例会に一般の方を呼ぶのは50名少ないのですよね。人を呼べばよいつてわけではないですけど、ただそこに何の意図があるのかを聞きたいです。それは自信がないのか、呼べないだろうと思って委員会がつくっているのか。意味があればよいのでお聞かせ願いたいと思います。
- <篠原> 過去の例会を参照させていただいて、研修例会はチラシが2万枚、2万枚で1369人。政策例会は2000枚配布して140人。両方とも約7%なのです。そこで私たちが考えたのがチラシ2000枚に対して約7%という点と会場のキャパを考慮して、この結論に達しました。
- <須山> 東京に行って講演を聞いたそうですが、どうでしたか。
- <篠原> クラウドファンディングはこういうものであって、こういう成り立ちでできました、というお話と、過去の成功例等のお話でした。すごく参考になる話で

して、今後にいかしたいと思いました。

<須山> たぶん篠原委員長は前回のも含めて着眼点がよいのだと思います。ただクラウドファンディングが理事会構成メンバーにまだ伝わってないかな、と思います。あとチラシのデザインがイメージ的なもので表現されていると思いますが、チラシの意味ってどんな意味があるのでしょうか。

<篠原> クラウドファンディングはネット業界からのものでして、ネットの中からものをすいあげて、それが実になって人を幸せにする。そういうイメージで表現させていただきました。

<須山> 説明されてわかる感じですね。おそらく初見で一般の人がみて、これはなんだろうって思うのが普通かと思うのですが、説明を加えればよいというわけでもなくて、正直うーん、というところですかね。もう少しわかりやすい、クラウドファンディングが伝わるような、これは想いが強すぎるのではないのでしょうか。あとバナーですね。バナーは情報量が少ないと思いますので、日付等追加していただけると。篠原委員長が伝えたいものが伝わりきってないとの印象を受けますので、そのあたりご一考ください。

協一 2 第 1 1 3 回通常総会 開催計画並びに予算（案）について

協議資料につき辻委員長より上程文の読み上げ。

<金> ご意見ご質問はございますか。

<木村> 参考資料の 5 番項なのですが、会場レイアウトのところで質問なのですが、委員会ごとに席をわけている理由を教えてください。

<辻> 引継ぎ事項において、空席が目立つという意見がありまして、それに対するとすると、スムーズな運営、特に集計になります。そういった点を考慮してこのようなかたちをとらせていただきました。

<木村> 空席が目立つというのであれば、委員会ごとにも空席が目立つと思いますので誘導の際に前から詰めればよいと思います。総会は委員会単位ではなくメンバー単位で意思を決定していく場なので、例会、事業とは異なり、個人個人でしっかりと前に座っていただくのがよいかと思います。もう一点なのですが、参考資料の 2 番項の実施までのスケジュールにおいて、はがきを送った後、返信後のフォローが入っていますが、はがきを送る前に委員会単位で説明をしていただければ必要なくなってくると思いますので、意見ですがご一考ください。

<辻> 席の件につきましては、委任状の回収後に出席者を把握したうえで調整をしていきたいです。またいただきました意見については委員会に持ち帰り、再度検討させていただきます。委任状の書き方等については、委任状発送の際に資料を同封させていただいていますのと、メーリングでも

案内させていただいておりますが、こちらも再度検討させていただきます。

- <鈴木> 委員会フォローの件ですけれども、ここにいる理事会構成メンバーが総会や委任状についてしっかりと理解ができているならば、理事構成メンバーが委員会できっちりと説明すればよいことだと思います。意見です。
- <小瀧> レイアウトなのですけれども、執行部席のレイアウトと執行部席次表の席の番号があってないので、あわせてください。
- <須山> 第112回の時のことを思いかえしていただいていたのですけれども、シナリオに意味があったのかなあと思います。みてみたところシナリオの添付はございませんので、よろしいかと思います。それ以外のところで不備がないように皆さんで進めていきましょう。

協一 3 8月 宮まつり例会 開催計画並びに予算(案)について

協議資料につき木村委員長より上程文の読み上げ。

- <金> ご意見ご質問はございますか。
- <林> 今年40回目ということで、40回目ならではのものはございますか。
- <木村> 40回目というところでは、宮っこみこしがオリオン通りをとおることによって、より安全に多くの市民に子どもたちを披露してというところと、2日目の宮っ子パレードなのですが、約2500人の子どもたちが出場するのですが、東電から上河原までの会場全体を使用した演目だったのですが、大通りに入場の際にバルーンを持っていただいていた入場という設えとなっています。あと彫刻屋台が2基会場の方に出場、火焰太鼓がばんば広場に展示という方法で進めております。
- <篠原> 事業内容の手法のところ、宮っこみこしのところなのですけれども、宇都宮市民の皆さんにみこしを身近に触れとありますが、その後に文化芸術活動への参加とありますが、文化芸術活動とはなにでしょうか。
- <木村> 文化芸術活動なのですけれども、おみこしは伝統芸能であり文化との認識でありまして、おみこしの団体への所属、もしくは自治体がおみこしを所持している、がなければおみこしを担ぐことはできません。そういった条件を満たしていない子どもたちにおみこしを担いただきたく、おみこしを4基お借りしております。これらのことをまとめて文化芸術活動への参加と表現させていただきました。
- <相田> 意見なのですけれども、宮っこみこしが今回オリオン通りをとおるということで、オリオン通りの入り口に車進入禁止の柵があったと思うのですね。その柵に子どもがもたれると危険ですので、事前に外しておくようにすれば子どもの安全が守れるのと思います。

- <木村> こちら、柵も含めて許可、打ち合わせの方を進めております。今回初めてのことでですので子どもたちの安全を第一に進めておりますので皆さまにも協力をお願いしながら進めたいと思います。
- <佐藤> 本祭が30分早まったというところで、こちらの理由を教えてください。
- <木村> 早まった理由としては、5年に1度の山車屋台という枠があるからでして、こちら参考資料6番項の催事枠をみていただければわかると思います。警察への許可はとれております。
- <渋谷> 3つありまして、まず、今回の宮っこみこしのルート変更をされるということで、オリオン通りを使用する計画となっておりますが、当日のオリオン通りは賑わいがすごいと思いますがどのような警備体制をお考えでしょうか。資料はありますが、詳細をお聞きしたいと思います。次に事業目的の対外、対内のところで目的の検証方法をお聞きしたいと思います。最後に特別会員案内文のところなのですが、敬具という言葉が明朝体になっておりますので修正いただきたいと思います。
- <木村> 宮っこみこしの警備方法なのですが、例年あやふやになっていたばんば広場から大通りにでる時の警備の方、こちらの方はルート警備で片側3車線に人員を配置して警備にあたります。あと警察にお願いしてでていただきます。そこからオリオン通りに入って、というところなのですが、こちらは初年度ということで先頭に観客よけ、その後に飾りよけを置きます。各みこしの担当以外に警備の担当ということで、みこしと観客の警備を20人強化しております。目的の検証方法につきましては、対内目的については自己の成長となりますので7月30日の準備から始まり、片付けまで皆さんが市民とかかわりいろいろなものを学ぶことができましたらそれが検証だと考えております。対外の方の検証ですが、こちら検証しようにも2日間で60万人近い観客がきますので、検証というのは不可能かと考えております。ただ市民のためのお祭りであるので、事故のない設営をして観客が無事に2日間楽しんで帰ることができたら、最終的な検証につながるのかなと考えております。
- <渋谷> 今回40周年という節目でもありますので警備体制の方を強化していただいて、事故のない安心、安全な宮まつりをよろしくお願いします。
- <山田> 本年の工夫と期待される効果の5番項に会場全体を使い全体手締め式を行いますとありますが、みこしの担ぎ手と参加者も一緒に手締め式をされるということなのでしょうか。
- <木村> 全体手締め式なのですが、参加者というのは我々JCと同じ設営側の参加者とその他観客が一体となったものをつくりたいと考えております。
- <山田> 去年の手締め式の時に東電前地点にいたのですが、宮島で最初に手締め式がはじまると思うのですが、スピーカーからの音声にタイムラグがあ

って東電前ではやりなおしをしていたのですね。観客も一緒にやるとなると一体感が薄れているように感じますのでなにかしらの工夫が必要になるかと思えます。意見です。あと審議対象資料になるのですが、特別会員の案内文とビジター案内文のところで2015年が2014年になっているところ、第49回が第39回のところ、1日2日が2日3日となっているところを修正していただきたいと思えます。最後に審議対象資料のメンバー向け案内文がありませんので追加されるとよいと思えます。

<篠原> 手締め式の話になりますけれども、手締め式は十締め一本ですよ、十締め一本を市民の方は知らないので一発でやりがちなのですよ。なので、一体感がでないのかなと。そのあたりの工夫が欲しいかなと思えます。意見です。

<辻> 議案の12番項の今年の工夫と期待される効果のところなのですが、6番の全体清掃を行いますというところと、参考資料の10番に清掃活動とあるのですが、これは今まで行っていたクリーン大作戦のことでしょうか。

<木村> こちら参考資料の方まだ反映できておりませんが、まだ煮詰めているところなのですが、クリーン大作戦はJCの方で毎年行っているものでして、それとは別に会場を使用している皆さんで清掃ができないものかというところにして。私どもが出向している開催委員会の各部会で個別に清掃をしようとして進めようとしています。

<相田> 毎年、手締め式の前に絆纏を着ていない人を入れないようにしていますが、部会のご家族の方で関係者だということが入ってくる人がいますよね。そういう人がいると一般の人もどんどん入ってきてしまいますので、そういった件を部会でお話しただいてなんとか対応いただけるようお願いしたいと思えます。意見です。

<木村> 開催委員会でお話をさせていただいて、部会に落とし込んでいきたいと思えます。

<小瀧> 宮っこみこしなのですが、ほぼ毎回この半被が足りないです。過去の資料から必要数などみえてくると思えますので、なんとか対応を願いたいと思えます。

<木村> この件につきましても開催委員会に持ち帰り、しっかりと意見して間に合うようでありましたら対応させていただき、間に合わないようでしたら次年度にしっかりと引継ぎをさせていただきます。

<篠原> 今年の工夫のところ、バンパ広場にて日中の木遣り梯乗り演目を行いますとありますが、このあたりの警備はどうなりますか。

<木村> こちらの方は担当がいるのと、例年もおこなわれていますので大丈夫かと考えています。ただ、木遣りを子どもたちがみることができるように進めているところにして、子どもたちの安全を考えて進めていきたいと思っております。

<鈴木> 議案に関してなのですけども、皆さまからご意見等いただいております警備の件につきましては、出向者会議の方でご質問いただければと思います。

<須山> 私の方から2つありまして、前年からの引継ぎがありますけども、7割くらい議案には反映されてないと思います。個別には対応がありますが、それが具体的に議案に反映されておられませんので、一つひとつもう一度見直していただいて、どうなったかわかるようにしていただければと思います。もう一点ですけど、ボランティアですね。ボランティアを今年はどういう感じで考えているのかなど。木村委員長お願いします。

<木村> 警備ボランティアに関しては、出向者会議で警備担当のJ Cメンバーに落とし込むのとは別で、大竹君が落とし込みをすることを考えております。その他、ビジ電、有志のボランティアに関しては、挨拶に行って打ち合わせを進めているところです。

<須山> ボランティアの方も是非参加して楽しんでいただけるように、お祭りですので一緒に感動を分かち合えるようなかたちにしてあげられたらなと思います。これは私の感覚なのかもしれませんが、来て、グリーンベルトに座って、お酒を飲んで帰るといふ人がいると思いますが、そういった人たちを巻き込むような設えを考えてほしいなと思います。まだ時間はあると思いますので。是非ともお願いします。

協一 4 第31回わんぱく相撲全国大会 開催計画並びに予算（案）について

協議資料につき宮林委員長より上程文の読み上げ。

<金> ご意見ご質問はございますか。

<小瀧> わんぱく相撲の全国大会の詳細をよく知りません。詳細をダイジェストとして映像で見たいと思います。

<宮林> 委員会に持ち帰らせていただきます。

<金> 映像だけではなく詳細が分かればいいですね。

<山田> 事業概要の5番の主催・後援の表記ですが、無くていいと思います。また、協力で陽南道場さんをここに加えたらいいと思います。

<宮林> 見直しをさせていただきたいと思います。

<木村> 事業予算の選手の食事代ですが、3人で1万5千円となっていますが、ひとりあたり5千円の食事代は見直したほうがいいのか？予備費が5千円だと不安なので食事代から見直したほうがいいのかと思います。

- <宮林> 宿泊場所の関係で、予算内で対応できればなるべくいいものを食べさせてあげたいと思っています。場所が決まった時点で予算に不安を感じた場合は昼食代の費用を下げなければならないと考えております。昨年と同じ宿泊場所であれば、食事に5千円使っても大丈夫だと思います。
- <木村> 選手にいいものを食べさせたいというのは、青少年育成事業の目的と異なってきます。いい思い出を作れるような方向性で考えたほうがいいと思います。相撲部屋に宿泊となった場合、移動費等のお金もかかってくるのでそれを考慮した予算組みをお願いします。
- <金> 宮林委員長、7月の法令までには宿泊場所は決まりますか？
- <宮林> 私が伺ったところでは、6月中にはどの回答でした。法令のスケジュールもありますので、決まらない場合は予備費を増やす方向で考えなければならないと思っています。
- <鈴木> 宮林委員長、全国大会をわかっていますか？
- <宮林> ご質問が抽象的でなんともお答えしづらいのですが、各地で勝ち上がった子どもたちが集まる大会でしょうか。
- <鈴木> 2日間のスケジュールと流れを分かっておられないと思います。HP等で随時チェックし、打合せするようにしてください。
- <須山> 鈴木常任の言葉が重いと思いますが、スケジュールの把握を今一度してください。また、陽南道場の稽古に顔を出したり、壮行会の予定が決まったら私も同行いたします。

協一 5 9月 青少年ダンス事業 開催計画並びに予算（案）について

協議資料につき相田副委員長よりの上程文の読み上げ

- <金> ご意見ご質問はございますか。
- <飯塚> 審議対象資料のポスターのタイトルが違います。
- <相田> 準備が間に合わず、タイトルは修正前のもので全体の参考イメージとして載せました。
- <金> 協賛のダンスコインとは何ですか？
- <相田> 参加したチーム、もしくは優勝チームに記念品として贈呈するために用意しました。

- <金> こちらは物品協賛でよろしいですか？
- <相田> はい。記念品を協賛者に買っていただき、それをお預かりして子どもたちに渡す形になります。
- <柿沼> ダンスコインですが、ダンスメダルという文言も出てきますが、同一のものですか？
- <相田> ダンスメダルで統一させていただきます。
- <篠原> 審議対象資料の大会会場配布冊子ですが、下部に同意しますという文言がありますがどうということですか？
- <相田> 宇都宮J Cで撮影した写真を使用するにあたり、観覧者の使用許可を取りつけるために記載しました。
- <林> 集計方法ですが、ひとつひとつ数えるのは難しいのではないですか？
- <相田> 今回、集計する人員を増やし、一人当たりの負担を減らす方向で考えていますので、可能だと思います。
- <林> 事前にシミュレーションをするといいと思います。
- <中嶋> 集客について工夫されていることは何かありますか？
- <相田> 今回、各メディアを通しての呼びかけや、繁華街での呼びかけを考えております。
- <中嶋> 委員会の担当役割ですが、オリオンスクエア等にここまでの人員は必要ないと思います。余剰の人員を集客のほうに充てられたらいいと思います。
- <柿沼> 意見ですが、選手控え室を有効に使える方策を採られたらいいと思います。参加者が入りきらないことが去年ありました。
- <山田> ポスター配布の段取りはどうなっていますか？
- <相田> ただいま委員会の中で検討中です。
- <山田> 早々に進めたほうがいいと思います。
- <飯野> 議案が常任理事会の時と変わっていると思いますが、当初の議案ではこのダンス選手権は競技性を持たせると言うよりは発表の場を設けると言う趣旨だったと思います。しかし、今日の議案の中で競技性が強くなっている印象を受けます。どちらにするのかをもう少し明確にする必要があると思います。競技として見るのであれば、採点の公平性を改善する必要性が出てくると思いま

す。意見です。

- <須山> 飯野常任と重複しますが、審査員の権限が過剰だと思います。公平性も委員会で今一度再考していただきたく思います。
また、対外発送文書のスケジュールは大丈夫ですか？出さないのであれば委員会での修正をお願いします。

協－6 新入会員認証（案）について

協議資料につき佐藤副委員長よりの上程文の読み上げ

- <佐藤> 審議格上げの動議をお願いします。
<金> 全会一致で審議事項2番項に格上げします。

審－2 新入会員認証（案）

- <須山> 推薦者からの言葉をいただきたいと思います。
<菊池> 人格的に大変善良な方です。皆さんよろしくをお願いします。
<中島> お父様もJCOBということで、間違いなく有益な人材になりうると思います。よろしくお願い致します。
<須山> 全会一致で審議可決といたします。

15. 報告依頼事項

報－1 2016年度 理事長当選人について

- <澤畑> 選挙管理委員会委員長の澤畑です。2016年度理事長当選人が中島崇君に決まりましたことをご報告をさせていただきます。

報－2 2015年度 年間公式スケジュールについて

- <金>変更点の確認をお願いします。

報－3 2015年度 対外出向者について

特になし

報－４ 会費納入状況について

<金田> 未納の方に連絡が取れていません。引き続きアプローチしてみます。

報－５ 特別会員入金状況について

特になし

報－６ ５月 ビジター報告について

報－７ ビジター名簿について

報－６ ビジター名簿について

報－８ その他

特になし

１６、監事講評

<安野>

まずは理事会大変お疲れ様です。早い時間から設営の総務、渉外の皆さんいつもありがとうございます。さて、セレモニーについてですが、笑いがこぼれたりする場面がありますが、しっかりオンとオフのメリハリをつけて臨んでいただきたいと思います。苦言を呈させていただきます。

本理事会ではよいよ宮まつり例会の議案が上がってまいりました。予定者段階から数えましてもう９回目の理事会なんですね。須山理事長が率いた宇都宮ＪＣも既に着地点に近いところまで来ています。そういうことをよく皆さんに考えていただき、理事長の掲げる真摯に挑戦が出来ているか、これをもう一度考えていただきまして事業の構築に当たっていただけたらと思います。それと冒頭に全国大会主管立候補を辞退する旨のお話がありましたが、ＪＣ活動は続けていかなければなりません。私も全国大会運営会議に出向しておりまして、井上議長が仰っていました。全国大会を何のためにするのか、次の年につなげるため、連綿とＪＣ活動を続けていかなければならない。２０１５年度の理事会構成メンバーが２０１６年の構成メンバーにしっかりバトンを繋いでいく。この役目を果たしてこそ２０１５年の仕事が終わります。それを考えながらももう一度、しっかり取り組んでいただきたいと思います。最後に、ＪＣＩミッションの中に opportunity という言葉がありますが、これはチャンスとはまた別の機会と言う意味です。チャンスは偶然性がありますが、オポチュニティは必然性の意味合いを含んでいます。ＪＣに言い換えれば人それぞれの活動の中で、自ら機会を掴みに行くことで成長し、吸収することで宇都宮にとって貴重な人材となっていたいただきたい。最後に結ばせていただきます。以上、監事講評とさせていただきます。ありがと

うございました。

17. 閉会宣言

<金>

公益社団法人 宇都宮青年会議所
2015年度 第4回理事会議事録

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成：総務委員会

議事録署名人：須 山 裕 史
安 野 嘉 政